

1. 三郷市農業の将来像

三郷市農業に関する現状と課題を踏まえ、本市が目指す農業の将来像を次のように掲げます。

持続可能な みさとの農業

生産地と消費地が共存する本市の農業は、担い手不足や生産コストの増加など、厳しい環境にありながらも、農業者の日々の努力のもと、安全・安心で高品質な農産物を供給し、市民の支持を集めてきました。

今後も、ゆとりある都市景観の形成や市民との交流、食育の場の提供、地産地消の推進、環境保全、防災など、都市農業としても多様な機能を発揮しながら、市民と農業者の双方にとって、魅力ある産業として持続的な発展を目指していきます。



新鮮で高品質な小松菜生産



三郷産農産物のPRとなる農業祭



地元商業施設での三郷産農産物の販売キャンペーン



農家の指導による市民の農業体験

2. 施策の体系

本計画では、将来像である「持続可能な みさとの農業」を実現するため、次の4つの方向性に基づいて施策を展開していきます。また、それぞれの施策について、取り組み内容を「見える化」します。

はぐくむ

方向性 1 持続可能な農業経営

本市の農業がこれからも持続的に発展していくため、多様な担い手の確保に努めるとともに、6次産業化や農産物のブランド化を推進するなど、農業所得の向上を図ります。

のばす

方向性 2 地産地消の推進

地産地消を推進することで、市民に地元の新鮮な農産物を供給するとともに、地元小売店や野菜直売所「べじ太くん」をはじめとする農家即売所の活用等により、農家の販売機会を拡大します。

つながる

方向性 3 ふれあい型農業の推進

都市農業という本市の農業の特性を踏まえ、市民の農業への理解醸成や、市民が農業に親しむ機会を創出します。

まもる

方向性 4 地域に応じた農地の保全

本市の農地を将来に向けて継承していくため、耕作されない農地の発生を抑制するとともに、農地の多様な機能の発揮を図り、限られた農地を最大限活用します。

三郷市都市農業振興基本計画の事業目標

◆ 農業者の農業経営に関する研修や情報交換等の機会を増やしていきます。

農業経営等の研修会	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	1 回/年	3 回/年

注：研修会は、経営向上を目指す農業者等を対象に、農家の後継者同士の交流や情報交換の機会を提供し、営農スキルの向上や経営課題の解決方法などを図ることを目的とします。

◆ 三郷産農産物の P R を通じて、都市農業を振興していきます。

三郷産農産物の 知名度アップのための イベント企画・開催	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	3 回/年	5 回/年

注 1：イベントとは、三郷産農産物の販促キャンペーンを実施することです。

注 2：現況の数字は、開催予定のものも含まれます。

◆ 学校給食等で三郷産農産物をさらに活用し、地産地消を推進していきます。

学校給食への三郷産 農産物の年間使用率	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	6.3%	8.3%

注：現況の数値は、令和 4 年度の学校給食実績値です。(資料：学務課)

◆ 消費者に対し、新鮮な三郷産農産物の購入機会を増やしていきます。

即売農家数	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	43 戸	48 戸

注：目標および目標値は、第 5 次三郷市総合計画に即した内容です。

◆ 市民が農業とふれあう機会を増やし、都市農業への理解を深めていきます。

観光農園・市民農園	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	11 カ所	16 カ所

注：目標および目標値は、第 5 次三郷市総合計画に即した内容です。

◆ 持続可能な三郷市農業を推進し、併せて農地を保全していきます。

経営規模拡大の意向	現況 (令和 4 年度)	目標年次 (令和 15 年度)
	3.8%	5.0%

注：現況値は、令和 4 年度三郷市都市農業振興基本計画農業者意向調査結果によるものです。(P12 表 2-3-7)

3. 三郷市都市農業振興基本計画体系図

本計画の方向性に基づく施策と主な取組を、下図に示します。(図 3-3-1)



図 3-3-1 都市農業振興基本計画 体系図